

平成 23 年度学校経営方針・マニフェスト

1 本校教育目標と重点について

子どもが、自分の可能性を伸ばし、自己実現に向かって、心豊かに、たくましく生きていくことは、私たち共通の願いである。この変わらない願いを実現させようと思えば、私たち、子どもをとりまく大人もまた、自ら変わらなければならないと思う。

本校教育目標は、開校以来、「みんな なかよく み力ある〇〇〇」である。この〇〇〇には、例えば、子どもやなかま、学校など、さまざまな言葉をあてはめるようになっている。教職員、保護者、家庭、地域といった言葉を〇〇〇に入れると、それぞれ、自ら変わるべき方向を指し示すものになる。私たち教職員だけでなく、保護者も地域の皆様も合言葉としていただけたら幸甚である。

2 こんな子どもに ～子どもが選択枝の幅を広げる指導・支援をします～

(1) 分かるまで投げ出さない子ども、そして、「やったらやっただけのことはある」との実感をもつ子どもに【確かな学力の育成】

学校の果たすべき役割の第一は、子どもに「学力」を身につけることである。子どもの「学力」実態に基づいたよりよい指導のあり方を研究し、実践する。

- 基礎基本の定着 … ていねいな指導と繰り返し指導。学習教材の活用。
- 一人一人の「学力」の伸長 … 習熟度や少人数など個に応じた指導。表現の場の工夫。
- 自学自習の習慣の形成 … 家庭学習の工夫。学習環境の充実。地域の人材や教材の工夫。

(2) 自分、そして、なかまを大切に作る子どもに【集団育成】

学校は集団生活の場である。子どもに、例えば、優しさや思いやりなど人間尊重の精神と態度、礼儀などの社会生活を送る上での基本的態度やルールを身につけさせる。

- 自尊感情や自己肯定感の醸成 … 活躍する場の設定。体力・健康保持の取組
- 認め合い、支えあい、高めあう集団の育成 … オアシス活動、協同作業の設定、たてわり活動、児童会活動
- 学級や学校、おおさか、自国への愛着と誇りがもてる学校文化の形成 … 地域学習、国際理解を深める取組、学校図書館活性化事業

※礼儀、公共心、言葉づかい等の指導は、信賞必罰の姿勢で厳しく臨む。

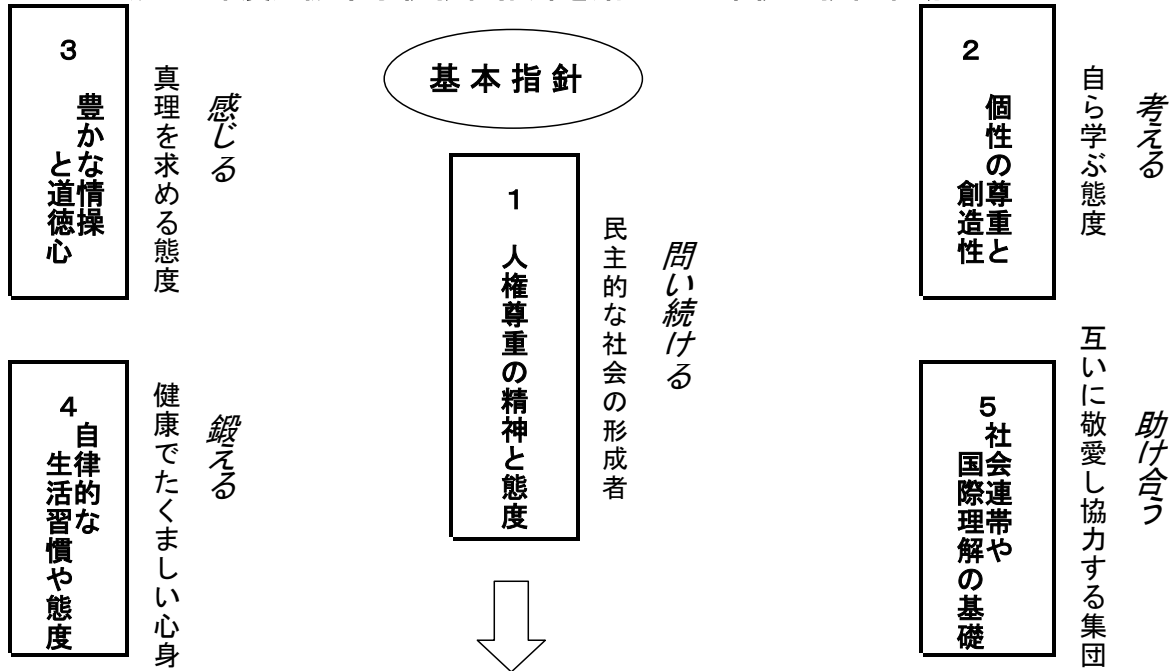
3 そのために ～私たち教職員は、次のことを心がけます～

- (1) 今までに本校で積み上げてきた教育活動・実践、伝統を大切にします。
- (2) 「お子たちにこのような力をつけます。そのために、こんな教育内容を提供します」ということを、子ども、保護者、地域の方にきちんと知らせます。
- (3) 子どもの実態把握に努め、子ども理解を深めます。
- (4) 子どもや保護者とのミスマッチを克服するように努めます。
- (5) 地域やPTA、保護者と協働作業ができるように場づくりと呼びかけをします。
- (6) 「やってみて、子どもは、こう変わった」ということを点検・評価し、教育活動を改善します。

4 保護者の皆様へ

学校の方針をご理解いただき、子どもの健全育成のために、教職員とともに、家庭の本来的な役割である、子どもの保護、基本的生活習慣の定着、しつけなどの家庭教育に力をいれてください。

平成 23 年度大阪市学校教育指針を踏まえた本校の教育活動



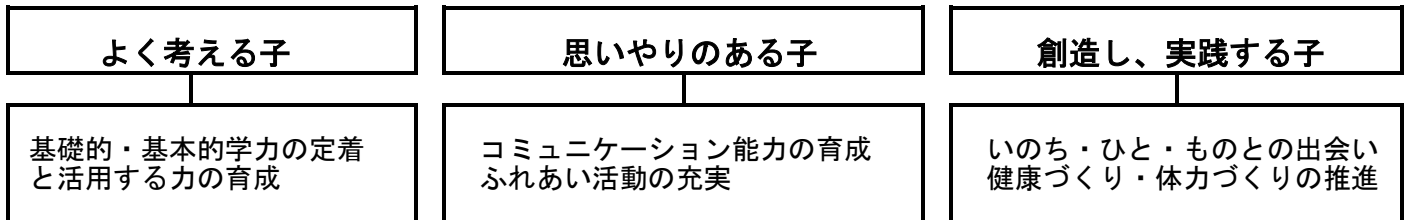
平成 23 年度大阪市学校教育指針 重点課題

「生きる力」をはぐくむ教育活動を推進する

- 1 自立心や自制心、思いやる心や感動する心、社会貢献の心などを育てる。
- 2 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、問題を解決する力を育てる。
- 3 自らの健康や体力に関心を持ち、たくましく生きようとする態度を育てる。
- 4 互いにちがいを認め合い、個性を尊重し合う集団を育てる。

南小学校の教育目標

- み… みんな 考えを出しあって
- な… なかよく 助け合い
- み… みりよくある子 すばらしい学校



平成 23 年度 南小学校 学校経営の重点

心豊かで、自立的に活動する子どもを育てる

ア 基礎・基本を身につけ、問題解決に活用しようとする子どもを育てる。

イ 互いを認め合い、高めることのできる仲間づくりを進める。

- 自ら学ぶ意欲と態度を育てる学習指導を工夫する。
 - ・教材研究を深め、少人数指導や習熟度別少人数指導を進める
 - ・表現の場を設け、子どもが輝く機会をもつ
 - ・様々な外部の人材を活用し、豊かな学習活動を進める
 - ・学習環境を充実させる

- 豊かな心を育てるいのち・ひと・ものとの出会いを大切に教育を深める。
 - ・「わくわく」タイムでの発表を大切にする
 - ・「ふれあい活動」の内容を充実させる
 - ・「学校図書館活性化事業」を活用し、読書活動や図書館の充実を図る
 - ・国際理解を深める取り組みを工夫する

研究 主題 (22年度) 23年度は研究部で原案
 「生きてはたらく言葉の力をつける指導法」－国語科を中心として－ ※23年度も国語

